

# 月刊東乳商

第491号  
第492号  
合併号

発行所  
東京都牛乳商業組合  
広報部 〒101-0035  
東京都千代田区神田紺屋町29  
神田ISビル  
☎ (5295) 3721 (代表)  
FAX (5295) 3724

東京都牛乳商業組合 平成20年1月20日  
●URL <http://www.tokyo-gyunyuya.com> E-mail [tonyusho@forest.ocn.ne.jp](mailto:tonyusho@forest.ocn.ne.jp)  
毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共) (昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

乳製品販売顧客管理コンピュータシステム

## 市乳くん

宅配/卸・ハンディ・本支店間・LAN・EOS・顧客管理

【資料請求はこちらから】 >>>> 0120-5959-92  
株式会社 オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

### 年頭の所感

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
昨年は東乳商の運営と事業活動には会員の皆様方や役員の方々にご多大なご協力とご支援をいただき有難うございました。  
本年も牛乳販売店のより一層の発展を得るため役員一同、全力を尽くしてまいりますので、宜しくご指導・ご支援のほどお願い申し上げます。  
例年、事業計画の重要課題である牛乳の価格適正化の推進が今年は今まで以上に販売店にとって重要な年になると思います。昨年は量販店(スーパー)の安売り牛乳の新聞折り込みチラシを組合員と役員一同で収集し三千五百件を分析しましたが牛乳(1000ml)一六〇円以下で売られているのが六〇%以上でこの数字は年々増えてきています。四、五月には一本五五円、十二月には一本九九円で販売するスーパーまでが出てきております。  
「公取委」は一般消費者が結果的に不利益になるのを守るために不当廉売などに「待った」をかけるのでありますが、これから高齢者の一人暮らしが増えるなか地域に密着し高



### 価格改定には量販店不当廉売に対する環境整備が前提

東乳商理事長 渡邊 佳三郎

齢者の生活にとって何かと手助けしている牛乳屋さんは今まで以上に絶対必要であり消費者からもチルド商品の宅配制度の便利さは認められています。「公取委」にはこれらを守って戴きたいと考えます。  
しかし牛乳の不当廉売は販売店の経営を困難にさせ毎年五%位廃業(東乳商資料)としており後継者もなかなか育ちません。その上本年は牛乳の価格改定が昭和五三年から数えて三十年振りに実施されますが、末端の消費者の価格改定をするには量販店の不当廉売を止めさせ適正な価格で販売するような環境整備が前提として必要です。販売店が価格を値上げ出来ずに苦しい経営を強いられる事のないように乳業界としても互いに真剣に取り組みなければなりません。  
このような販売店が困難な環境の時に環境が大きく変化する時こそ、これをチャンスと捉えて販売店同士が衝突し過当な競争や販促行動を行う販売店が出ないように販売店の外郭三団体と連携しあい今後注意して行きたいと思っております。  
今年も例年に無く厳しい年となりますが、ご身体にはくれぐれも気をつけて皆様方のご多幸と益々のご商売繁盛をご祈念申し上げて年頭の挨拶とさせていただきます。

### 日豪自由貿易に思う

副理事長 広川 雅也



あけましておめでとうございます。昨年は何かと組合にご協力ありがとうございました。  
今年も既に四月より乳価の改訂があるとのことですが不安ですね。  
さて、一方目を外に向けて見ると、めまぐるしい経済の発展と共にその変化は大変なものですね。十七年ほど前にマレーシアの大統領がアジア共同グループの設立を叫びましたが、昨年は現実味を帯びた首脳談話にまで発展してきました。お互いの国と国が経済交流を行い成長しようとしています。当然のことですが農業部門においてもしかりです。日豪両国のFTEについては三回に亘って話し合いが行われています。米、牛肉以外は既に合意がなされているとのニュースがあります。乳製品については日本と豪州との乳価差は一对四の割合で日本のほうが割高とのこと。これが関税が撤廃されるとどうなるか問題である。  
農水省および学識者等の発言を見ると、これによる業界の影響は莫大なものです。金額で二九〇〇億円もの減少が見られるといわれています。グローバル化は現実的な流れかもしれないが、日本の農業のGDPに占める割合は一%だとのことですが、だからといって断捨捨て御免はないでしょう。我々牛乳販売店は現在もそうですが、スーパー等での特売などでは本当に苦労してきま

した。多少のことでは負けないうがやがて来るであろう大波には大丈夫だろうか心配である。  
組合員の皆様方のご健勝と商売繁盛をお祈りします。

### 地域牛乳販売店の団結

副理事長 磯辺 元央



昨年は食品関係の偽装・賞味期限の問題等でお客様の食品に対する目が変わり、乳業界もブルセラ病疑似騒ぎで一時代大変でしたが、安全宣言が出たと思っただけで、年末近く牛乳商品の値上げが発表され、また牛乳の乳価値上げ発表等により今年も厳しい環境の中で牛乳販売店が生きていくには東乳商を中心とした地域の牛乳販売店業界が一丸と団結して取り組み問題だと思えます。組合員全員で頑張りましょう。  
今年も組合員の皆様方の健康と益々の商売繁盛をご祈念申し上げますとともに、本所へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

### 組合員の衆智で難局を乗り越えよう

副理事長 川井 邦伸



新年あけましておめでとうございます。ご家族従業員の皆様共々しておめでとうございます。日頃から東乳商の諸活動にご理解とご協力を頂きまして

誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて乳業界を取り巻く環境が今年是一段と厳しさを増して来る事は皆様の日頃実感されている通りであります。今年春三十年ぶりの生乳価格引き上げと原油価格高騰に伴う原材料費価格引き上げから牛乳乳製品全般の価格改定は既成の事実であります。  
この難局を乗り越えるためには組合員の皆様の衆智を結集し地道に各自が出来る事から実行していくにはありませぬか。酪農家が汗水流して生産した牛乳が水より安価に販売されて良い道理はありません。この現実を打破するための足がかりにする一つの手段として一昨年以來量販市場におけるオトリ価格の実態調査に対する組合員の皆様のご協力をお願いしているところであります。お陰様でかなりのデータも集められましたのでこれをどう生かしていくか具体的な検討を加えている段階であります。そしてこれまでもさまざまな苦境を乗り越えてこられた皆様方と共に希望の持てる乳業界にするため私共も決意もあらたに理事長を先頭に頑張る所存であります。  
文末ながら組合員の皆様のご健勝とご商売のご繁盛を心からお祈りいたします。

### こつこつ積み上げて大きく成長を

副理事長 高津 征夫



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えら

れたこととお喜び申し上げます。今年も千支がねずみ年のスタートです。あるとき、都会のねずみと田舎のねずみが出会いました。お互いに、それぞれの自慢話をして、話が弾み田舎のねずみが何日か都会で暮らしていました。こんな騒がしい中で、よく生きていられるね、と云い、田舎のほうがいいぞ、と云って帰って行きました。都会のねずみが、数日田舎に行きました。毎日毎日が退屈でしかたがないうねと帰って行きました。  
新年早々このような話をしましたが、自分自身それなりの暮らし方がありますが、ねずみ年の今年はこのこつこつ積み上げて、大きく成長することのできる年ではと、今心に感じております。

昨年は食品会社や老舗の偽装と不祥事が数々と発覚して消費者に戸惑いと不安を与え混乱いたしました。ガソリンの相次ぐ値上げ、牛乳の消費減退と海外乳製品の暴騰によるバターなどの品不足、厳しい状況下で私たち販売店も昨年は大変な一年でした。今年も春から値上げの話が出ています。新しい年を迎え私たちが取り巻く環境は厳しい状況が予測されます。  
ホームページを開設して、新しい販売活動を展開し、経営の安定と活性化を図るために勝ち抜き成果が上がりやすことを心よりお祈り申し上げます。組合員の皆様とご家族様には、健康に留意されご繁栄とご多幸を心よりご祈念申し上げます。



### 多難な年試行錯誤しながら前進しよう

常務理事 中央ブロック長

浅黄 豊晴



新年明けましておめでとうございます。昨年はお食品偽装が社会的現象を起し、また特微的な老舗といわれている食品会社が次々と偽装をしたことです。食品に携わる現在の日本人の常識又は匠が問われていると思います。今年には乳業会社や食品事業会社ではいろいろな原材料の値上げが始まり製品の値上げに転嫁は必至だと思います。

この現実を受けて私たち牛乳販売店は組織としても個人としても一段と試行錯誤の一年かと思えます。牛乳販売店の後継者不足と言われて久しいが、平成二〇年の曙を迎え心新たに販売業として試行錯誤しながら前進する以外ありません。そして将来に希望を持って精進したいと思います。皆様方には健康管理に一段と気をつけていただきたいと思います。

### 切磋琢磨して牛乳業界を盛り上げよう

常務理事 城東ブロック長

川和 秀夫



新年明けましておめでとうございます。昨年より若輩者ですが常務理事を拝命しました。私自身牛乳屋の二代目です。最近特に牛乳業界が厳しい環境に置かれています。はたして次期世代に継承できる商売なのか？

私自身も悩みがたくさんあります。東乳商はマークを超えた歴史ある団体であり組合員でもっと切磋琢磨し牛乳業界を盛り上げてはと考えています。宜しくお願い致します。

### 販売店は健康のメッセンジャー

常務理事 城北ブロック長

瀬戸 正夫



新年あけましておめでとうございます。平成二〇年子年。十二支の最初の年であり誠に響きの良い心持ち良い年明けでした。昨年の十二月、日本プレスセンターにおきまして「牛乳市民講座が開かれ、その中で清水誠（東京大学教授）先生は、人が食するものの中で「母乳以外は全て異物であるがその中で牛乳が最もそれに近い食物である」と述べられておりました。それには香川芳子（女子栄養大学学長）先生も賛同され「必要な栄養が殆んど含まれかつ吸収されるので尊い食物です」と強調されておりました。それらの講話を聞き、改めて牛乳の価値を認識し、自身を高めました。皆様もどうか自信を持って毎日の仕事に励んでいただきたいと思います。

### 支部組織変更にご協力を

常務理事 山手ブロック長

田村 寿雄



あけましておめでとうございます。昨年、乳価の値上げが

新聞等で報じられましたことには皆さまもご存知かと思えます。我々末端の販売店にとって、この値上げによって売場を守るべく努力しなければなりません。保育園やポップなどは、東乳商が窓口になっておりますが、組合員の皆様の協力を得て、スムーズに値上げが行われることを望みます。また、特に世田谷区は四支部あった支部組織が一部に改変されることになっております。どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

### お客様とのコミュニケーションの強化を

常務理事 多摩第一ブロック長

中村 和幸



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様にご健勝にて新年を迎えられ、ご活躍されていることを心よりお喜び申し上げます。さて、昨年は老舗の名のある会社が期限切れ再利用、産地や表示の偽装、賞味期限の改ざんが次々と発覚し、消費者の食の安全を揺るがすニュースが連日報道され、食品業界の根底を揺るがす問題となりました。また輸入乳製品、飼料や燃料費の大幅な値上げにより酪農業者が悲鳴を上げておられることが報道でも取り上げられております。

これらの影響を受けて、三十年ぶりの乳価の改定が決定し、我々販売店にも厳しい対応が迫られることになりました。国内の飲用牛乳の消費が前年を下回って推移するなか、我々販売店の宅配が従来のような成長を期待することが厳

しくなっております。宅配の価格改定についてはお客様に理解を求め納得していただくとともに、安心安全をお届けする販売店の責任が従来にもまして大きくなってまいりました。チルド流通こそが将来の宅配を支える重要な取り組みとしての考え方が定着し、保冷受箱も急速に普及しております。

今年さらさら配達時における品質を高め、お客様とのコミュニケーションを強化し、地域に根強く生き残る販売店を目指して改革していくことが生き残る道ではないかと思っております。

三十年ぶりの価格改定を目前にし、各店の知恵と工夫で信頼される販売店の仕組み作りにお取り組みいただきますようお願いいたします。新しい年を迎えるにあたり、組合員皆様の益々のご繁栄を祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 乳価改定に一致団結で乗り切ろう

常務理事 多摩第三ブロック長

大久保 俊男



皆様、あけましておめでとうございます。常務理事新任の大久保です。さて、今年には乳価改定という大きな問題が間近に迫ってきております。原油、穀物等の世界的高騰の中での改定ということで乳業界のみならず、政界、他業界の情報、連携協力も必要と感じております。どうか皆様と共に一致団結乗り切っていこうではありませんか。よろしくお祈りします。

この難局を「吉」に  
兼子 賢一  
新春を迎え皆様にご挨拶を申し上げます。

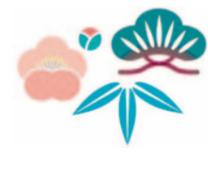


さて、乳業界におきましては、今春一番の難題となる原乳・諸物価高騰による乳価改定の動きがございます。周知のことではあります。東乳商組合員一丸となって対処していくことにより、この難局を「吉」と変えていくよう前向きに取り組んで参りましょう。

スーパーの牛乳特売をやめさせよう  
岡崎 隆夫  
現在、原油価格の高騰やバイオエタノールに端を発しあらゆる原料・資材の値上げ等で社会生活も大変厳しい時代に入りました。乳業界も飼料価格高騰で酪農家も大変苦しい状況で値上げに向かっている。メーカーも原材料価格が上昇分値上げする。販売店もメーカーからの値上げがあれば値上げしないわけにはいかない。でもスーパーの安売りの環境整備をしてからでなくては値上げはできない状況です。



おめでとうございます



<p>東京明乳事業協同組合</p> <p>理事長 川幡 康成</p> <p>副理事長 的場 眞一</p> <p>専務理事 高梨 透</p> <p>佐々倉 透</p> <p>東京都墨田区緑一 二六―十一 (明治乳業両国ビル二階) 電話 〇三―三六三一―六九七〇</p>	<p>森永牛乳協会</p> <p>会長 河野 行博</p> <p>副会長 加藤 光彦</p> <p>竹内 志郎</p> <p>市川 清典</p> <p>青木 信典</p> <p>〒105-0003 東京都港区西新橋三―二四―五 レック御成門川名ビル八〇二号室 電話 〇三―三四三七―三八八二</p>	<p>東京メグミルク協会</p> <p>会長 依田 末男</p> <p>副会長 清水 長治</p> <p>西村 武男</p> <p>〒182-0025 東京都調布市多摩川一―三〇―一 日本ミルクコミュニティ(株)内</p>	<p>東京メイトー牛乳協会</p> <p>会長 藤橋 國夫</p> <p>副会長 関根 淑雅</p> <p>橋本 治</p> <p>東京都板橋区幸町二―四 協同乳業(株)東京支店市乳課内 電話 〇三―五九六六―二二二七</p>
---	---	---	---

# 改善協版

## 年頭の挨拶



東京都牛乳流通改善協会  
会長 依田 末男

新年明けまして

おめでとございます  
新しい年を迎え、心から新年のご祝辞を申し上げます。

皆様にはお健やかに新春を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

また、日頃は当協会に對しまして皆様方から格別のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のわが国の経済を振り返ってみますと、前半は高水準の企業収益を背景として、設備投資もまずまずで推移し失業率も四%と低水準で、雇用の改善を反映し底堅く推移しました。しかし、五年間続いた安定成長も後半に入り鈍化してきて、デフレ脱却に向けた動きは足踏みしているようです。原油の高騰、定率減税の廃止、住宅着工の減少、米国のサブプライムローン問題等が発生し、

世界的な金融問題になっていることなどによるものですが、一方、アジア経済の拡大で輸出は好調で、景気は引き続き拡大

基礎調で推移するものと思われ、政府は、来年度は二%の成長と見込んでおります。

しかし、大企業では、ボーナスの伸びは五年連続で伸びているものの、格差の問題でもありますが全体としては賃金は伸びず、雇用改善は賃金上昇↓消費回復という企業から家計への波及効果力が弱い状況です。新年度からは、これらが改善して本格的な景気回復に繋がって欲しいものであります。

一方、我々を取り巻く状況を見ますと、年末にはビッグニュースがありました。明治乳業、森永乳業が今年春に牛乳等を値上げすると発表したことであ

ります。

バイオ燃料の需要拡大で、乳牛の飼料、資材などの価格が高騰し、生産者団体が求めている原料乳価の引き上げを一部受け入れたものであるようですが、牛乳値上げは三

十年振りであり、下落が続いてきた小売店での実売価格も反転する可能性が出てきたようにも思えます。世界的に見ても、牛乳乳製品の値上げが各国で相次いでいます。世界的な飼料高でチーズや肉類の価格も高騰していることによるものと思

います。EUでは、需要の増大から生産枠を二%拡大を発表していますが、

なお、値上げについてでありますが、皆さんがこれに對して如何に旨く対応できるか、如何にプラスにして行くことが出来るか、これがカギでありましょう。生産者はきちんと纏めてあげてくるものと思いが、しっかりと受け止めて対応したいものであります。また一方では心配な面もあります。それは特に宅配に於いてであり、客離れが起きて高齡化と合わせてこの機会に廃業が増える事が懸念されます。年々減少し

## 2007年 酪農乳業界重大ニュース

酪農乳業研究会（酪農乳業専門紙9社で構成）が選定した2007年重大ニュースは以下の通り。上位には、飼料や輸入原材料価格の高騰で30年ぶりに生産者乳価が引き上げられたこと、乳業メーカーがほとんどの品目で値上げを発表したことが選ばれた。

1. 飼料価格高騰で08年度乳価引き上げへ
2. 輸入原材料価格高騰で乳業界も値上げに動く
3. 国内乳製品需給が急変、脱粉の過剰解消
4. 08年度生乳計画生産、異例の前倒し協議
5. 牛乳消費拡大の努力も4年連続前年割れ
6. 北海道で新增設の乳製品工場が相次ぎ稼働
7. チーズ総消費量、27万トンで過去最高を記録
8. 日豪EPA/FTAが4月から正式交渉開始
9. キリンが豪州の大手乳業メーカーを買収
10. 牛乳類の自主回収騒動、回収のあり方問われる（酪農乳業速報より）

ている販売店のこれ以上の減少を食い止めたいものでありますし、スーパー安売りに對しての環境整備も必要でありましょう。

当協会といたしましては、昨年も全国改善協会事業を中心に取り組んでまいりましたが、優良事例発表会事業関東ブロック審査で、梶原乳販さん（明治山梨）、かわだ商事（株）さん（メグ新潟）のご両店が二月の全国審査に進まれました事を報告いたしておきます。

今年度も当協会では例年の通り会員販売店の減少があり更なる賦課金の

削減が見込まれます。それに対応して今年も経費の支出の抑制に取り組んで参ります。現在の役員を見ますと十八名であります

ですが、二期前にくらべ五名減となっておりますし、他にもいろいろと効率化を図っておりますのでご理解を賜りたく存じます。

最後になりましたが、本年の皆様のご商売繁盛とご家族皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

今年も引き続きご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

# 新年明けまして

東京興真会

会長 関根伸綱  
副会長 久次郎

中村和夫

千葉県八千代市大和田新田一三五  
コーシン乳業(株)内  
電話 〇四七―四五九―五七〇〇

小岩井牛乳協会

会長 相田常勝  
副会長 高橋政春

東京都千代田区鍛冶町二一六一  
堀内ビル六階  
小岩井乳業(株)東京支店内  
電話 〇三―五二〇九―八〇三二

グリコ牛乳販売事業協会

理事長 牛尾田建一  
副理事長 佐伯茂  
専務理事 森田正男

川崎市多摩区登戸五九八  
(牛尾田 建一内)  
電話 〇四四―九一―七三三三

業務中のシートベルトの免除のステッカー



- 高齢者と子供の交通事故防止
- シートベルトの着用の徹底
- 若者による二輪車の交通事故防止

ステッカーご希望の方は  
東乳商事務局へ…TEL 5295-3721

〒101-0038  
千代田区神田美倉町12三恵ビル5階



# 都普協版

## 年頭の挨拶

東京都牛乳普及協会

会長 小笠原 鉦二



新年明けましておめでとございます。

皆様には益々ご健勝にて二〇〇八年の輝かしき新春をこ家族おそろいでおすこやかに迎えにいられたことを心からお慶び申し上げます。

旧年中は、当協会の運営並びに牛乳の消費拡大事業の推進に格別のご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

本年も、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福田康夫首相は所信表明演説で、「安全」「安心」という言葉を何回か使いました。その中でも「安心」が多く使われています。危険や不安な要素の多い情勢だけれど、とりあえず落ちついて欲しいというところのようです。世間一般では安定していると評価されている内閣ですが、派閥の長に押し切られた役員人事をやるようでは堅固な政権作りをしたとはいえないのではないのでしょうか。安全で安心できる食品を求める消費者の声は年々高まるなかで、相次ぐ企業の偽装工作、事実の隠蔽など安心できない世の中を象徴している事件はあとをたちまきませんでした。このような中で乳業関連団体の企業において

大きな品質事故もなく、偽装の事件もなく無事に年をこすことが出来ました。今年も消費者の信頼の一層の向上を図るべくお互いに努力を要する必要がある。お金をかせぐことは悪いことではありませんが、他人に被害を及ぼしながら知らん顔では、日本民俗の精神構造に異変をきたしているといえないでしょうか。「安全」「安心」という言葉が新聞、雑誌などに頻りに取り上げられています。その内容は主に生産者の思い、行政の対立が目立ちます。福田首相はメールマガジン創刊準備号で「信頼を取り戻す名案はありません」といっています。一度失った信頼を回復するのは難しい。安全な方法だから安心して買ってください、そのような単純な理論でお互いの信頼関係がはたして戻るでしょうか、福田首相のいうように信頼を取り戻す名案はないかもしれません。「安全」「安心」を押し売りしないで販売する方法は無いものでしょうか。

海道のチーズ工場建設に着手」がトップでした。その理由として昨年後半からその兆候があった原油価格は一時一バレル九〇ドル台というかつてない相場をつけ、これに絡んだバイオエタノールの増産は砂糖、果汁やトウモロコシなど飼料穀物、大豆や菜種、パーム油など油脂原料の価格を引き上げたこれに地球温暖化の影響で局地的干ばつや洪水などが襲い、小麦などの収穫減で相場が上がり、食料の六〇％(カロリーベース)を輸入に頼る日本は原材料価格の高騰の影響を受けるとともに、生産者・流通・加工業者ともに収益減に苦しんでいるとされています。

一〇大ニユースのトップに上げられたとおり、今年度は三〇年振りに原乳の引き上げが実施されることとなりました。飲用向けについては四月からの値上げが実施されることになり、メーカーも卸価格値上げで販売店との交渉に入っています。加工向けやチーズ向けなどについても乳価引き上げが実現する見通しです。商品の値上げについては、「生」「処」「販」一体となり消費者に理解を得るための十分な説明が必要だといえます。このような大きな変化のある状況のなかで、残念ながら乳業界挙げて努力しているにも関わらず牛乳の消費は四年連続で前年を下回り依然として低迷を続けています。近頃の消費者は、価格にとらわれず自分なりの価値観にあった商品を求める傾向にあるといえます。消費者の求める価値を提供しえないことが消費の低迷につながっているのではないかと考えられます。

牛乳の消費拡大の努力も(社)日本酪農乳業協会の「3-A-Day」運動も4年目、(社)中央酪農会議の「牛乳に相談だ」も三年目最近日常会話のテーマとなるようになり、これらキャンペーンの認知率もかなり高まってきたといえます。これらキャンペーンも牛乳を飲むことに「義務感」や「強制感」を与えては牛乳離れにつながりません。牛乳を自然に思い出しってもらうことが実際の飲用行為につながる消費の拡大につながっていくのではないかと考えています。

本年も事業実施に当たっては昨年同様、関東甲信地区牛乳普及協議会(静岡含む)一都九県が連携をとりながら、また関東生乳販売農業協同組合連合会の協力を得ながら効率的に事業を展開していきます。今後とも事業推進にあたっては、関係官庁、及び「生」「処」「販」各団体のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、平穏な二〇〇八年になることを願うとともに、各位のご健勝と益々のご発展を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

**東乳商の訃報**  
謹んでご冥福をお祈りいたします。  
11月18日  
メグミルク箱根ヶ崎販売店 店主  
高水 武平 殿(享年78歳)  
12月30日  
メイトー牛乳葛西販売店  
青木 正夫 殿(ご令室)  
ハナ殿(享年92歳)

### 季刊誌「ほわいと」のご案内

季刊誌「ほわいと」は、社団法人 日本酪農乳業協会(Jミルク)が保健所、保健センターの保健士・栄養士等を通して、牛乳・乳製品についての正しい知識・情報を一般に広く普及啓蒙してもらうために年4回発行しているものです。健康保険組合、大学、専門学校、酪農乳業関係者等にも配付しています。季刊誌として19年度は夏号「暑さに負けるな!」、秋号「恵みのふるさとを訪ねて」、冬号「冬こそあげよう! 代謝力」、春号「美しさも、目覚める」のテーマ特集形式で構成し各号2万3千部を配付しています。又一般向けへ広く啓蒙するために、「ほわいと」と同じ内容のコンテンツをJミルクのホームページでも公開しています。一般の人でも楽しく読みながら牛乳乳製品の知識や情報が得られるので各種イベントや会合での利用、また、地域への普及の一環として活用できます。有償配付を希望される方には次の方法で購入することができます。なお、定期講読希望者には、送料自己負担により提供しています。

1. 配付誌  
j-milk magazine「ほわいと」(6、9、12、3月の20日頃発行)
2. 配付方法等  
毎回の「ほわいと」印刷までに必要量を注文すると、増刷して販売店まで届けてくれます。  
・発注単位：100部単位(最小発注量も100部)  
・配付価格1部60円(消費税別)  
・送料等詳細は社団法人 日本酪農乳業協会のホームページに掲載されています。
3. 問い合わせ先  
・104-0045東京都中央区築地6丁目4番10号カトキチ築地ビル9階  
社団法人 日本酪農乳業協会  
電話03-6226-6352 FAX03-6226-6354  
ホームページアドレス：<http://www.j-milk.jp/>